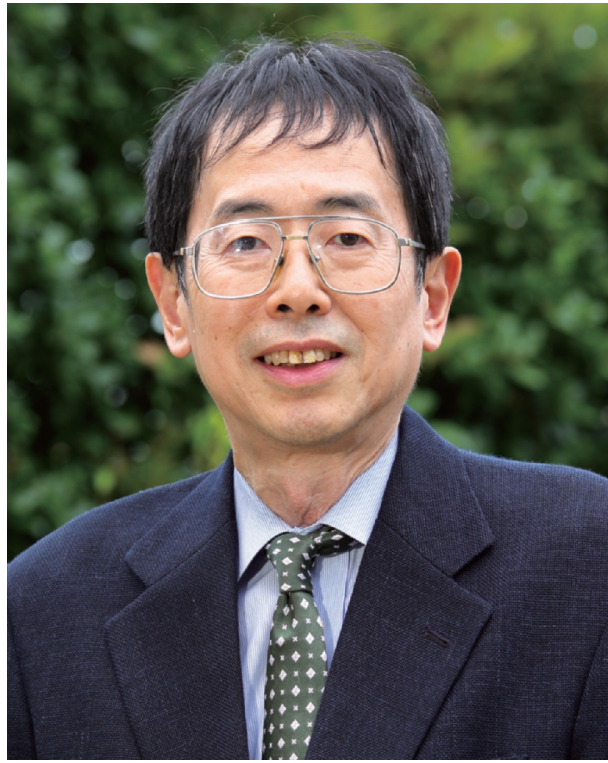


気力をもって棋力を磨き 果てない勝負の世界に挑む



荒川こども将棋教室での指導の様子

■プロフィール
1959年3月21日、荒川区生まれ。小学生で将棋をはじめ、1973年、14歳で日本将棋連盟の新進棋士奨励会に入会。1981年12月、四段に昇段しプロ入り。1982年1月、奨励会棋戦の第4回「若駒戦」にて優勝。1985年4月に五段、1991年5月に六段、2002年5月に七段となる。「荒川将棋道場」「荒川こども将棋教室」を主催。「荒川区こども将棋入門/初歩教室」「荒川区長杯 荒川区こども将棋大会&将棋教室」などの普及活動にも熱心に取り組んでいる。



棋士
むろおか
室岡 克彦さん
かつひこ

第244回 荒川の人

古代インドのボードゲーム「チャトランガ」が西洋に渡ってチェスに、日本に渡って将棋になったと言われています。9×9=81のマス目に、玉将(王将)、飛車、角行、金将、銀将、桂馬、香車、歩兵の8種類の駒を置き、先手、後手と交互に指してゆく将棋。隠れた武器や助けなど一切なく、勝つか負けるかはすべて己の判断次第。頭脳の格闘技と呼ばれる将棋の世界で、ひとにぎり存在するプロ。荒川区に生まれ育ち、区内の将棋普及のための活動も行っているプロ棋士、室岡克彦さんにお話を伺いました。

プロ棋士になれるのは

5人に1人という狭き門
「私は生まれも育ちも西日暮里。子どもの頃は野球も好きで、ロッチェオリオンズこどもの会に入って、南千住にあった野球場、東京スタジアムによく見に行っていました。将棋を始めたのは、親の仕事が鉛筆の製造で、その関係の催しで将棋大会があり、おもしろそうだと思っ

て参加するために子ども向けの将棋入門の本を読んだのがきっかけです。第六日暮里小学校の3年か4年だったと思います。将棋の本や雑誌を読んだり、友達と指したり、上野にあった将棋道場に毎週通ったりしていました。中学生になると、デパートのイベントで100人以上参加する中学生将棋大会でいつも優勝か準優勝するようになりました。それでプロになりたいと思って日本将棋連盟の新進棋士奨励会(以下、奨励会)の試験を受け、合格して入会したのが14歳のときです」
将棋と囲碁にはアマチュアの段位とプロの段位があります。奨励会に入会するには最低でもアマ四段の実力が必要です。「奨励会に入っしまえば必ずプロの道が約束される」という甘い考えは通用しません。奨励会には年齢制限があり、期日(現在は満26歳の誕生日)までに四段に昇格できなければ退会処分になるのが決まり。入会したうでプロにな

れるのは約2割。5人に4人が夢破れ、別の道を探すことになります。

棋譜を研究し

棋力を向上させる日々

「22歳のとき、奨励会員で争われる公式戦『若駒戦』の第4回に参加した時は三段で、闘っている間に四段になりました。この『若駒戦』では東京の予選を勝ち抜いて大阪での決勝にのぞみ、優勝することができました」
奨励会では月2回の対局があり、そこで勝ち上ることでも段も上がってゆきます。そして四段になると、正式に職業としての棋士を名乗れ、トーナメントなどに出場できるようになります。プロ棋士の仕事のうち、対局はほんの一部。大部分の時間を勉強、研究に費やすのでです。

「私は佐瀬勇次名譽九段門下ですが、師匠はまったく将棋は教えませんが、アマチュアの最初は人に習いますが、奨励会に入り、プロになったら、自分で考えていかないとだめです。教わればある程度は行けるかもしれない、でも、そこまでです。たくさんさんの棋譜(対局の手順を数字や記号で表した記録)を分析し、自分なりの形を開発して棋力(強さ、腕前)を向上させないといけません」
日々の研鑽により、室岡さんは五段のとき、第13回名将戦(主催:文藝春秋社)で予選を勝ち抜き、本戦1回戦で二上達也九段を破り、3回戦で中原誠名人(当時)を破って準決勝に進出(優勝した米長邦雄九段に敗退)という活躍ぶりだ名を広めます。そして、六段、七段と段位を進めて現在に至っています。

将棋の楽しさと厳しさ

地域活動にも貢献

「30年間、ずっと将棋の世界に没頭して、地元のことには一度も頭を下げたことがない、偶然、荒川区には将棋教室がないと聞き、思い立って地域での活動を始めることにしました。2012年、教室のオープン

初日は生徒1人に先生2人でしたが、現在は「荒川こども将棋教室」に40〜50人の生徒が来ています。同じく2012年からスタートした「荒川区長杯・荒川区こども将棋大会&将棋教室」も今年6月で第5回を迎えましたが、参加者は150人を超え、会場では佐藤康光九段らとともに指導にあたっています。また、文化庁伝統文化親子教室事業として、荒川区将棋協会が今年5月〜10月に開催している「平成28年度荒川区こども将棋入門/初歩教室」では講師を務めています。また、昨年より区民将棋大会が開催されています。本年も11月13日にサンパール荒川小ホールで開催されますので、区民の皆様のご参加をお願いします」
このほか、荒川区の放課後子どもプラン(ここにこそくーる)では、出身校である第六日暮里小学校に年10回将棋を教えに行っているそうです。研究一本やりの生活から、地元との交流、貢献に努めはじめて5年。着実に将棋の輪は広がっていると見えそうです。

最後に、室岡さんの好きな言葉を聞くと、10代の頃に読んだ世界名言集にあったカール・マルクス(19世紀ドイツの経済学者・哲学者)の「すべては疑いうる」と答えられました。「将棋でも何でもそうですが、誰か偉い人の言ったことをそのまま正解と妄信してはいけない。自分で正解を探し、その先へ行くために、違うんじゃないかとまず疑って否定するところからはじめます」
先入観に縛られず、進歩し続けること。長年勝負にこだわり続けるプロ棋士ならではの姿勢がそこにありました。

最後に、室岡さんの好きな言葉を聞くと、10代の頃に読んだ世界名言集にあったカール・マルクス(19世紀ドイツの経済学者・哲学者)の「すべては疑いうる」と答えられました。「将棋でも何でもそうですが、誰か偉い人の言ったことをそのまま正解と妄信してはいけない。自分で正解を探し、その先へ行くために、違うんじゃないかとまず疑って否定するところからはじめます」
先入観に縛られず、進歩し続けること。長年勝負にこだわり続けるプロ棋士ならではの姿勢がそこにありました。

INFORMATION

「荒川こども将棋教室」
土曜教室(毎月第2・4土曜日の午後/各90分)
水曜教室(毎月第1・3水曜日の午後/各90分)
「荒川将棋道場」
毎月第3日曜日/午後2時〜6時
子どもから大人まで、荒川区外の方も参加できます。
会場は、いずれも日暮里ひろば(荒川区西日暮里2-10-9)
詳しくは、ブログ「室岡克彦7段の荒川将棋日記」をご覧ください。 ※「室岡克彦7段」で検索

ふくらむ収納から、ゆとりの収納へ!

トランクルーム 貸し納戸

安心な管理人常駐!!管理費・共益金ナシ!!天井高3mで収納抜群!!
2階 割安ブース完成!!
3階 若干空きあり!!

月額 8,085円〜
毎月利用料のみ!

全130室
1.32m²〜3.89m²

詳しくはホームページをご覧ください
※空室はお電話にてご確認ください。

引越しの合間に家具の収納として。
シーズンオフの生活用品やスポーツ用品の収納に。

泰山堂トランクルーム 東京都荒川区荒川4-48-3
TEL03-3802-8888 (8:00〜19:30) FAX03-3805-2690

お申し込み
お問合わせ

http://www.okubopp.co.jp/

木曾路 敬老祝宴 期間: 9/1 (木) ~ 9/30 (金)

木曾路の七五三 期間: 11/30まで
お子様祝い膳 3,800円(税込4,104円)

【敬老の日特別企画】
落伊勢海老姿造り 3,800円(税込4,104円) 松茸会席 5,000円(税込5,400円)

【最大宴会人数60名様までご利用いただけます】
無料送迎バスをご用意いたします。

木曾路南千住店 荒川区南千住5-6-15
TEL: 03-5850-5567

グラスドリンク人数分プレゼント

- 2,160円以上の料理をご注文に限りです。
- グラスドリンクを人数分プレゼントいたします。
- 他券との併用はできません。
- ご飲食前に係員にお渡しください。
- 平成28年10月31日まで有効
- 木曾路南千住店のみに有効